

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 緒方和博 役職 / official position : 教授

1. 研究テーマ / Research Theme
形式手法と高信頼ソフトウェア研究室
2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired 研究室教育は必修 A 科目 (先端) 又は研究支援科目 (融合) の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.
主に抽象化能力と論理的思考力を身につけることができます。抽象化能力と論理的思考力を身につけると、複雑な事象を平易なことばで筋道を立てて簡潔に説明できるようになります。
3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle
将来研究者として新しいことを創造・発見したい方も、技術者として我々の社会を一変するような技術・商品を開発したい方も基礎科目の学修は不可欠です。このため修士課程の学生には課題研究の選択ならびにより多くの関連科目の履修を勧めます。そこで、修士課程 1 年のときは講義に集中して頂くこととなります。課題研究の決定は基本的に学生の自主性を尊重しますが、相談にはのりますし、候補をいくつか提案することもあります。博士課程の学生はひとりの独立した研究者として対応します。
4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities
<input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities : <input type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : 研究室セミナー <input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : <input type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 国際会議での論文発表
5. 年間スケジュール / Annual Schedule 本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP 参照: ホーム>教育>履修関係>履修案内) Please refer to the "Degree conferment schedule for the master's program/doctoral program" in the "Degree Completion Guide" for university-wide common schedule (JAIST website: Home >Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)
研究室内新入生研修(4~6月、10~12月) 国際会議投稿用の論文執筆(8~10月、2~4月): 修士2年の半年経過後あたりに国際会議に論文を投稿できるように論文を執筆します。論文を執筆するには、研究成果があることに加え、学生によって異なるが数ヶ月の時間を要します。博士課程に進学を考える方は、進学する前に必ず国際会議に論文を投稿するようにします。博士課程の学生は、1年に少なくとも1回は国際会議に論文を投稿し、国際会議で論文を発表するようにします。

国際学術誌投稿用の論文執筆（12～2月、6～8月）：国際会議に論文が採録されたら、研究を更に進め、その論文を拡張し、国際学術誌投稿用の論文を執筆します。博士課程の学生は、1年に少なくとも1回は国際学術誌に論文を投稿するようにします。